

安全データシート 81/20/3
 1907/2006/EC、31条に拠る

印刷日: 2017年8月7日

改定日: 2017年8月7日

1. 化学品及び会社情報

- ・1.1 製品
 ・製品名 プラナトール 81/20/3
- ・1.2 化学品の推奨用途と使用上の制限
 ・化学品の区分 詳しい関連情報なし
 工業用接着剤
- ・1.3 安全データシートの供給元の詳細
 ・製造/販売元 プラナトール GmbH (プラナトール有限会社)
 Fabrikstrasse 30-32, D83101 Rohrdorf, Germany
 Email: info@planatol.de
 Tel. No. +49(8031)720-0
- ・報告部署
 ・1.4 緊急時の連絡先 製品安全部
 Infraserv GmbH & Co. Höchst KG
 +49 69 305 6418

2. 危険有害性の要約

- ・2.1 化学品の分類
 (EC)No. 1272/2008規制による分類 CLP規制に準じ、製品は分類されない
- ・2.2 ラベル要素
 ・(EC)No. 1272/2008規制によるラベル 無
 ・危険有害性絵表示 無
 ・警告語 無
 ・危険有害性情報 無
 ・追加情報 1,2-ベンゾイソシアゾール-3(2H)-1,5-クロロ-2メチル-2イソチアゾル3オン、2-メチル2イソチアゾル3オンを含む為、アレルギー反応が発生するかもしれない
 要望によって、安全データシートが有効
 製品は分類されない
- ・2.3 他の有害性:
 ・PBTとvPvB評価の結果
 ・PBT: 該当なし
 ・vPvB: 該当なし

3. 組成及び成分情報

- ・3.2 化学的性質: 製剤
 - ・種類: 分散性の水性接着剤
 - ・有害な成分:
- | | | |
|----------------|------------------------------|-----|
| 脂肪アルコール、エキシレント | ⚠ 急性毒性. 4、H302 ; 眼刺激. 2、H319 | <5% |
|----------------|------------------------------|-----|

ページ No. 2/7

- ・追加情報 危険有害性リストの文言はセクション16を参照

4. 応急措置

- ・4.1 応急措置の説明
 ・総合情報 特に応急措置は不要

- ・吸入した場合 きれいな空気を吸う、症状によっては、医師の診察を受ける
- ・皮膚に付着した場合 かゆみが続く場合は、医師の診察を受ける
- ・眼に入った場合 数分開けた目を流水でよくすすぐ
- ・飲み込んだ場合 口の中を十分にすすぎ、大量の水を飲む
- ・4.2 最も重要な急性及び慢性の症状 詳しい関連情報なし
- ・医師への情報 この安全データシートを提出
- ・4.3 即時医療処置及び特別治療の必要性を示す兆候 詳しい関連情報なし

5. 火災時の措置

- ・5.1 消火剤 製品は可燃性でない
- ・適切な消火剤 二酸化炭素、消火器やウォータージェット
大きな火災にはウォータージェットを使用
大量のウォータージェットによる水
- ・使ってはならない消火剤 詳しい関連情報なし
- ・5.2 製品や調合剤からの発生する特有の危険有害性
- ・5.3 消防隊員の為の特殊防具: 特別な処置は必要なし
- ・追加情報 消火に使用した汚染水は分けて集める。下水などに流さない

6. 漏出時の措置

- ・6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 不要
- ・6.2 環境に対する注意事項: 多量の水で薄める
- ・6.3 封じ込め及び浄化方法及び機材 製品もしくは多量の洗浄水を下水道もしくは水路に流さない
液体を固めるもの(砂、珪藻岩、酸性結合剤、一般的な結合剤、おがくず)に吸収させる
- ・6.4 他セクション参照 安全な取扱情報はセクション7を参照
ばく露防止道具の情報はセクション8を参照

ページ NO. 3/7

廃棄に関する情報はセクション13を参照

7. 取扱い及び保管上の注意

- ・7.1 取扱い上の注意事項 特別な取扱いは必要無し
- ・爆発や火災防止についての情報 製品は可燃性でない
- ・7.2 保管上の注意事項(混合禁止物質を含む)
- ・保管場所と容器に求められる条件 特になし
- ・一緒に保管する物に関する情報 食品とは一緒に保管しない
- ・追加の保管条件 無し
- ・保管クラス 12(VCIコンセプト)
- ・7.3 特定の最終使用 詳しい関連情報なし

8. ばく露防止及び保護措置

- システム設計上の追加情報 詳しいデータなし、第7項目参照
- ・8.1 管理パラメーター
- ・職場でのばく露制限が有る成分 職場で管理が必要な関連物質を製品は含まない。
- ・追加情報 編集集中に有効なリストを基本とした
- ・8.2 ばく露管理

- ・適切な保護具
- ・一般的保護と衛生処置
- ・呼吸保護具
- ・手の保護具

化学薬品を取り扱う通常の方法を順守すること
 よく換気された部屋であれば不要
 手袋の素材は製剤に対し不浸透性で耐久性がなければなら
 ない。テストをしていないので、製剤のための手袋の素材の推奨は
 浸透時間、拡散率や劣化を考慮の上、手袋の素材を選択
 ニトリルゴム、NBR
 ブチルゴム、BR
 適切な手袋の選択は成分だけでなく、品質やメーカー独自にいく
 つかの物質を混合するため、手袋の素材の耐久性を事前に計算
 できない。使用前に確認を要する

- ・手袋の素材

- ・手袋の素材の浸透時間

正確な時間は保護手袋のメーカーによって明らかにされ、観察さ
 れなければならない

- ・眼の保護具
- ・身体の保護具

安全メガネ
 通常の作業着でよい

9. 物理的及び化学的性質

9.1 基本的な物理的及び化学的特性

・概要	
・外観	
形状	液体
色	白
・臭い	独特
・臭気閾値	未測定
・pH値 20℃	5.5
・状態による変化	
融点/凝固点	未測定
初留点と沸点範囲	100℃
・引火点(固体、気体)	未測定
・発火温度:	
分解温度:	未測定
・自己引火性	製品は自己引火性でない
・爆発性	製品は爆発性でない
・爆発限界点:	
下限	未測定
上限	未測定
・酸化性	製品は酸化性ではない
・蒸気圧	未測定
・密度 20℃	1.03g/cm ³
相対密度	未測定
蒸気密度	未測定
蒸発率	未測定
・水への溶解度:	混和性
・水分分配係数:N-オクタノール	未測定
・粘度	
20℃での動態	1500mPas
動粘	未測定
・溶媒容量	
有機溶剤	0.0%

- ・9.2 他情報

詳しい関連情報なし

10. 安定性及び反応性

- | | |
|------------------|---------------------|
| ・10.1 反応性 | 詳しい関連情報なし |
| ・10.2 化学的安定性 | |
| ・熱分解／避けるべき条件 | 仕様書に従って使用すれば分解しない |
| ・10.3 有害の可能性 | 有害反応は発生していない |
| ・10.4 避けるべき条件 | 過熱
凍結 |
| ・10.5 混触危険物質 | 詳しい関連情報なし |
| ・10.6 危険有害な分解生成物 | 危険有害な分解生成物は発見されていない |

11. 有毒性情報

- | | |
|-----------------------------|--------------------|
| ・11.1 毒物学的影響の情報 | データなし |
| ・急性毒性 | データによると、分類基準にあたらない |
| ・初期刺激影響 | |
| ・皮膚腐食性及び刺激性 | データによると、分類基準にあたらない |
| ・眼に対する重篤な損傷・刺激性 | データによると、分類基準にあたらない |
| ・呼吸器官作性または皮膚感作性 | データによると、分類基準にあたらない |
| ・CMRの影響(発がん性、変異原性及び生殖毒性の再生) | |
| ・生殖細胞変異原性 | データによると、分類基準にあたらない |
| ・発がん性 | データによると、分類基準にあたらない |
| ・生殖毒性 | データによると、分類基準にあたらない |
| ・特定標的臓器毒性(単回ばく露) | データによると、分類基準にあたらない |
| ・特定標的臓器毒性(反復ばく露) | データによると、分類基準にあたらない |
| ・吸引性呼吸器有害性 | データによると、分類基準にあたらない |

12. 環境影響情報

- | | |
|---------------|------------|
| ・12.1 毒性 | |
| ・水性毒性 | 詳しい関連情報なし |
| ・12.2 残留性と分解性 | 簡単には分解できない |
| ・12.3 生体内蓄積能 | 詳しい関連情報なし |
| ・12.4 土壤中の移動性 | 詳しい関連情報なし |

ページ No. 6 / 7

- | | |
|---------------------|--|
| ・他情報 | 管理なしに環境に放出してはいけない |
| ・生態毒性影響 | |
| ・注意 | もし適切な低濃度で生物学的処理された植物に与えられれば汚泥の分解活性の抑制は予測できない |
| ・他情報 | 地元の水質管理規定を守る |
| ・追加の環境学的情報 | |
| ・一般的な注釈 | 水質汚染クラス1(ドイツ規定)(自己評定): 水には少し有害
薄められていない、もしくは大量の製品を地下水、湖、池や下水に流してはいけない |
| ・12.5 PBTとvPvB評定の結果 | |
| ・PBT | 該当なし |
| ・vPvB | 該当なし |
| ・12.6 他の悪影響 | 詳しい関連情報なし |

13. 廃棄上の注意

- ・13. 1 廃棄方法
 - ・推奨 地元の規制に従って廃棄
 - ・廃棄キーナンバー ヨーロッパ廃棄リストによると、コードは使用者によって製造された独自の製品によって決まるため、廃棄キーナンバーは決められない国や地元の法律のガイドラインを守らなければならない
- ・汚れた容器
 - ・推奨 公的規制に従って廃棄
 - ・推奨される洗浄剤 水、必要であれば洗浄剤

14. 輸送上の注意

- | | |
|-----------------------|-----|
| ・14. 1 国連番号 | 非該当 |
| ・ADR, ADN, IMDG, IATA | 無効 |
| ・14. 2 国連輸送名 | 非該当 |
| ・ADR, ADN, IMDG, IATA | 無効 |
| ・14. 3 輸送危険クラス | |
| ・ADR, ADN, IMDG, IATA | |
| ・クラス | 無効 |
| ・14. 4 容器等級 | |
| ・ADR, ADN, IMDG, IATA | 無効 |
| 14. 5 環境における危険 | |
| ・海洋汚染物質 | なし |
| ・14. 6 使用者のための特別な予防策 | 非該当 |

ページ No. 7/7

- | | |
|----------------------------|---------------|
| ・14. 7 MARPOL73178附属書及びIBC | 非該当 |
| コードによるばら積み輸送される液体物質 | |
| ・輸送/追加情報 | 上の詳述により危険物でない |
| ・UN”模範規則” | 無効 |

15. 適用法令

- ・国内規制
- ・水質汚染クラス 水質汚染クラス1（自己評定）: 水には少し有害
- ・15. 2 化学安全評価 化学安全評価は実施されていない

16. その他の情報

上述のデータは当社の現在の知識に基づいております。特定の製品を保証もしくは契約関係に法的有効性を持たすものではありません。

- ・関連警句 H302 飲み込むと有害、急性毒性、経口
H319 強い眼刺激、眼に対する重篤な損傷性/眼刺激
- ・当データシートの発行責任部署 プラナトル 有限会社
info@planatol.de
- ・連絡先 S.O.
- ・略語・頭字語 ADR: 欧州危険物国際道路輸送協定
IMDG: 国際海上危険物規程
IATA: 国際航空輸送協定
GHS: 化学品の分類および表示に関する世界調和システム
EINECS: 欧州既存商業化学物質リスト

ELINCS: 欧州届出化学物質リスト
CAS: 化学情報協会(アメリカ化学学会における)
PBT: 持続性、生物蓄積性、有害物質
vPvB: 極難分解性及びモj毒性物質
Acute Tox 4: 急性毒性ーカテゴリー4
Eye Irrit 2: 重篤な眼損傷/眼刺激ーカテゴリー2

*データは前バージョンと比較し変更されました